

Course number		U-LAS27 20003 SJ48									
Course title (and course title in English)		朝鮮語II B K2151 Intermediate Korean B			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor, KWAK, Minseok				
Group		Languages			Field(Classification)						
Language of instruction		Japanese			Old group		Group C		Number of credits		2
Number of weekly time blocks		1	Class style		Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)			Year/semesters		2026・Second semester	
Days and periods		Thu.3		Target year		2nd year students or above		Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]											
朝鮮語コースの目的は、「朝鮮半島および日韓・日朝関係を文化的・社会的・歴史的な側面において理解し、東アジアにおいて生きていくための自分なりの世界観を身につけるための語学教育」（世界観養成語学教育）である。広義においては「異文化理解」となるが、単に「異なる文化」を「理解」する、という意味ではなく、自明のものとされがちな「自文化」を相対化し、近接した他者との複雑な関係性のなかでそれを解釈したうえで、今後自らが朝鮮半島とどのような関係をアクチュアルに構築すべきかを考究するために必要な、最低限の語学力を養成することが目的である。この授業では、ノーベル文学賞を受賞した韓国の作家ハン・ガンの代表作『菜食主義者』（2007）を読む。語学の知識を身につけることにとどまらず、作品の文学的な意味を吟味しながら、韓国社会に対する複合的な理解を図る。 【注意】 本学で「朝鮮語」というのは、朝鮮半島すなわち大韓民国（韓国）と朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）で使用されている言語のことである。この両国で使用されている言語には若干の相違が認められるが、大差はない。なお、特に大韓民国で使用されている言語を指すときには「韓国語」という呼称を用いる。											
[Course objectives]											
①中級レベルの文法・語彙・運用能力を身につける。②韓国の文学作品を朝鮮語で読みながら、韓国社会に対する複合的な理解を図る。											
[Course schedule and contents]											
毎回、ハン・ガンの小説『菜食主義者』を読んでいく。受講者は、事前に自ら日本語訳をしてみて、発音の練習をしてから授業に臨むこと。											
第01回 イン트로ダクション 第02回～第13回 『菜食主義者』を読む 第14回 全体のまとめ ≪定期試験≫ 第15回 フィードバック											
[Course requirements]											
Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".											
[Evaluation methods and policy]											
成績評価は、平常点（40％）および定期試験（60％）によって行う。なお、「平常点」とは、「出席点」のことではないので <u>注意</u> すること。「出席点」という <u>概念はない</u> 。 <u>平常点の詳細について</u> Continue to 朝鮮語II B K2151(2)↓↓↓											

朝鮮語ⅡB K2151(2)

ては授業中に指示する。

[Textbooks]

Not used

プリントを配布する。

[Study outside of class (preparation and review)]

毎回の授業で扱う朝鮮語文を、事前に訳してみ、発音の練習をしておくこと。

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]